

退院基準: 多職種での話し合い(カンファレンス)により, 退院決定する.

	1日目	30日目	60日目	90日目
	入院			退院
医師・看護師	<ul style="list-style-type: none"> ●入院生活について説明をします。 ●リハビリテーション総合実施計画書を作成し、説明をします ●カンファレンス(Dr・看護師・リハビリ技師・相談員を含めた話し合い) ●回診 ●医師との話し合い <p>※病棟の移動方法【個人差あり】 (安全面を考慮しながら, 移動方法を検討)</p> <p>①車 ・介助 ・見守り</p> <p>②歩行器 ・介助 ・見守り ・自立</p> <p>③杖歩行 ・見守り ・自立</p> <p>④独歩 ・見守り ・自立</p>			
療養相談 医療ソーシャル ワーカー	<ul style="list-style-type: none"> ●初期面接にて、入院前の生活状況や家族状況、今後の療養希望等をお伺いします。 ●回復期病棟での進め方について説明します。 ●介護保険の申請とサービス内容について説明します。 ●退院後の生活の場所についてお伺いします。 <p>※ 〆方向→自宅訪問や介護サービス事業所・福祉用具を相談します。 〆方向→本人の状況に応じた施設・病院等を相談します。</p> <p>●退院前に関係機関と情報交換をします。</p>			
リハビリテーション 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	<ul style="list-style-type: none"> ●リハビリ開始します。(体の機能の評価後、リハビリ実施) ●リハビリの練習計画について説明をします ●体の状態に適した生活動作練習を行ないます。 <p>※歩行練習方法 (歩行進行・獲得には個人差あります)</p> <p>①平行棒歩行</p> <p>②歩行器歩行</p> <p>③杖歩行(+階段)</p> <p>④屋外歩行</p> <p>●自宅訪問に同行し、家屋改修や動作方法についてアドバイスを行います。</p>			
検査	<ul style="list-style-type: none"> ●全身及び骨折部の管理として定期的な検査を行います(採血・検尿・レントゲン等)。 ●その他、状態に応じて各種検査を行います。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> ●嚥下の状態に合わせて、お食事をとります。 ●誤嚥の有無のチェックを継続します。 ●介助量や介助方法を確認します。 ●食器や箸等に工夫をします。 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ●体の状態に適したトイレ動作を確認します。 ●介助量や介助方法を確認します。 ●衣服に工夫をしたり、道具を使用します。 			
整容 (洗面・歯磨き・ 整髪・爪切り等)	<ul style="list-style-type: none"> ●体の状態に適した各動作の方法を確認します。 ●介助量や介助方法を確認します。 ●道具を使用したり、方法を工夫します。 			
更衣	<ul style="list-style-type: none"> ●体の状態に適した着替えの方法を確認します。 ●介助量や介助方法を確認します。 ●衣服に工夫をしたり、道具を使用します。 			

入浴

- 体の状態に適した入浴方法を確認します.
- 介助量や介助方法を確認します.
- 道具を使用したり、方法を工夫します.

